

運動機能を調べてみよう

一流のアスリートになるためにはどうすればいいの？



【日時】平成23年8月16日(火) 13時00分－14時20分

【場所】附属病院2階リハビリテーション室

【目的】リハビリテーション医学では多くの疾患を扱いますが、今回は特に**運動器**に対する検査を体験していただき、**運動器**に対する興味を持ってもらいたいと存じます

- 1) 表面筋電計をつかって筋肉の活動を見ます。
どうやったら腕相撲で勝てるのか？その方法を考えます。
- 2) 重心動揺計をつかってバランスや重心のぶれを測定します。
- 3) 動作解析装置を用いてフォームのチェックをおこない、パフォーマンスの向上につなげます。

4) 吊り下げ式のトレッドミルにのってもらい、減量した時の歩行を試してもらいます。

(長嶋茂雄前監督が脳梗塞で用いたものと同じものです)

5) 車いすの前輪持ち上げ(ウイリー)を体験してもらい、車いすマラソン選手の技術の高さを知ってもらいます。



切断



脊髄損傷



骨関節疾患

整形外科 医師 岩崎達也(31歳)からの一言

私は昭和55年に津久見市で生まれました。青江小学校、津久見第一中学を経て、臼杵高校に進学しました。その後大分大学医学部に平成11年に入学しました。医学部の6年間は実に充実しており、勉強、スポーツ、恋愛(もてませんので少し)に忙しい毎日、あっという間に終わりました。平成17年に整形外科医を目指して大分大学整形外科に入局しました。これまで大学病院、小倉の九州労災病院(小倉)、別府鶴見病院で研鑽を積みました。今年の4月に学位(医学博士)をとるために大学院に進学しました。これからさらに切磋琢磨したいと思います。

医学部は全国どこでもありますが、大分大学の魅力は縦のつながりが非常に強く、卒業後、たとえ診療科が違っていてもかわいがってもらえるところでしょうか。さらに整形外科では、野球、サッカー、テニスの大会があり、練習も部活なみにこなしており、仕事の面でもノックの嵐が吹くとおもえば、宴もありたいへんアットホームな雰囲気です。医学部に少しでも興味がある方はぜひとも大分大学も視野にいれてみてください。後悔はさせません！！

ディスカッション (テーマ資料)

資料①「10代のがん患者」	36
資料②「在宅緩和ケア」	36
資料③「認知症患者のケア」	37
資料④「インフォームドコンセント」	38
資料⑤「終末期患者へのコメディカルの連携」	38

ディスカッションの進め方

ディスカッションは、約10名の小グループ（体験学習と同一のグループ）で行います。その進め方は、以下のように行います。

- 1) 最初に、参加者のみなさんはそれぞれ自己紹介をして下さい。
- 2) 上記5つの資料を準備しています。指導医が多数決をとりますので、ディスカッションのテーマを決定して下さい。
- 3) テーマに決定した資料を読んで下さい。(5分間)
- 4) それぞれの参加者に感想を述べてもらい、ディスカッションの項目を2～3つほど決めます。(5分間)
- 5) 4) で決めた項目について、それぞれディスカッションを行います。(各項目約10～15分間)